

療法名 3wHER

適応 HER2過剰発現乳癌
 抗癌剤適応分類 術後補助化学療法、進行再発癌

第1版	改訂なし
登録番号	乳-2
登録年月日	2013年1月

投与順	抗癌剤名(一般名)	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	ハーセプチン (トラスズマブ)	HER	8mg/kg	点滴静注	90分	d1(1コース目)
2	ハーセプチン (トラスズマブ)	HER	6mg/kg	点滴静注	90分 [※]	d1(2コース以降)

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	……	42				
HER	8mg/kg	↓																											
HER	6mg/kg																						↓						

1コース期間 (次のコースまでの標準期間)	3週(1投2休)
総コース数	①術後補助:原則として1年間 ②進行再発:PDまで
コース間での休薬規定	なし

減量規定・中止基準	チェックリスト参照
投与量の増量規定	投与予定日より1週間超えたら8mg/kgへ増量、次回以降は6mg/kgへ戻す
投与間隔の短縮規定	7日短縮可能、7日延期可能
コースによる変化	HERの初回投与時は8mg/kg、2回目以降は6mg/kg [※] 投与速度:忍容性が認められれば2回目以降は30分に短縮可能
1日の中での抗癌剤投与順	単剤のためなし
プレメディケーション	ルーチンではなし
ポストメディケーション	なし

主な副作用とその対策	チェックリスト参照
患者条件	チェックリスト参照
除外規定	チェックリスト参照
実施上の注意点	①アンスラサイクリンとの併用は、心不全の発生頻度が有意に上昇するので原則として禁忌 ②トラスズマブは薬剤に付属の専用希釈液を用い、希釈・点滴する ③投与前、4ヶ月毎にEFを検査する必要あり

備考	術後補助:HERA試験より、化学療法完了後の順次投与推奨(適応として)
治療成績	①術後補助:HERA試験(vs観察群)でOSの改善、死亡リスクの低減が証明されている ②進行・再発:M77001試験(化学療法併用療法)でPFS、全奏効率共にトラスズマブの上乗せ効果が証明されている
その他	weeklyとtri-weeklyとで有効性、安全性に大きな違いなし

参考文献 南江堂 リスク別 がん化学療法レジメン 改訂第2版
 中外製薬 ハーセプチン®適正使用ガイド
 乳癌診療ガイドライン 2011年度版